

# 広報 はむら

9月1日号  
令和5(2023)年



郷土博物館で行った「まゆから糸をひこう」には、22人が参加して、繭から糸をひき出して糸車に巻いたり、真綿を作ったりしました。みんな昔の道具を使った作業に、興味津々だったりん♪(8月12日撮影)



広報はむら 令和5年9月1日号

令和5(2023)年9月1日発行 第1100号 URL = <https://www.city.hamura.tokyo.jp/> [s102000@city.hamura.tokyo.jp](mailto:s102000@city.hamura.tokyo.jp)  
【発行】羽村市 【編集】羽村市秘書広報課 〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 ☎042-555-1111 (F)336 FAX 042-554-2921



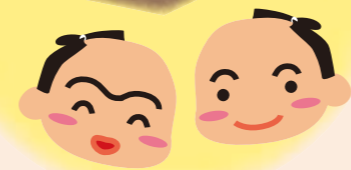
開館 50 周年記念 プリモライブラリーはむら ☎ 554-2280 (月休館)

## はむらしとしょかん いま・むかし



3

今回は、利用者カードの歴史を振り返ってみました。



図書館キャラクター  
玉川プラザーズ  
清ちゃん庄ちゃん

▼昔の貸出カウンター

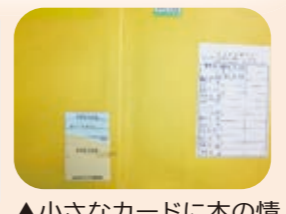


### むかしのとしょかん

昭和 48 年の開館当時はコンピュータなどありませんでした。貸出券はポケット型のもので 1 人 3 枚配られていて、借りる時に、本についているカードをそのポケットに入れてカウンターで保管していました。ポケット型の貸出券は、本を返却すると返してもらえ、新しい本を借りるたびに預けるという方式でした。また、本に返却日を記録する用紙が貼ってあり、人気の本はこの用紙が 2 枚 3 枚と重なることもありました。今の図書館で所蔵している本の中にも、この用紙(貸出記録)や本の情報カードを入れた部分が残っている本があります。これらがついている本は、電算化される前、今から 35 年以上前に購入した本です。



▲初代貸出券



▲小さなカードに本の情報が書かれていて、これを貸出券のポケットに入れます。

### 50 周年記念読書マラソン大会

期間 令和 6 年 1 月 14 日(日)まで  
期間中に借りた本の数が自動的にカウントされています。この間に 50 冊借りると、記念しおりがもらえます!ゴールまであと 4 か月。今からでもぜひトライしてみてください。  
※詳しくは図書館ウェブサイトをご覧ください。



◀図書館ウェブサイト

### いまのとしょかん

昭和 61 年に電算化されてからは、貸出券は、バーコードのついたカード式に代わりました。現在の水色の利用者カードはカード式になって 3 代目、新館オープン少し前から使用し始めたデザインです。それでも 25 年以上使われていることになりましたね。

### プレミアム利用者カードも!

読書手帳表彰を受賞した方には、プレミアム利用者カードを進呈しています。1 回目は銀色、5 回受賞した方には金色のカードです。「プレミアム利用者カードが欲しい!」という方は、読書手帳表彰に応募してください。

また、「開館 50 周年記念読書マラソン大会」を完走した方に「開館 50 周年記念はむりんシール」を差し上げます。図書館の利用者カードに貼れるサイズなので、利用者カードをはむりん仕様にリニューアルできますよ。



▲金の利用者カード



▲銀の利用者カード

### 電子版利用者カード

スマートフォンで図書館ウェブサイトから利用者メニューを開くと、貸出カードの表示をすることができます。カードをなくしたり、忘れる心配もないので、ぜひ試してみてください。